

## 1.映像資料「岡本太郎の芸術」

岡本太郎を紹介する映像です。

時 間：18分

内 容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど  
様々な活動の記録をわかりやすく解説した内容です。

※テロップ入りの聴覚障害者向けビデオもございます。(内容は同じです)



## 2.作品プリント

### 代表作品 (パウチ加工プリント)

太郎さんの代表的な作品が  
A3の大きさに36枚のカード  
になっています

サイズ：42.5cm×30.0cm

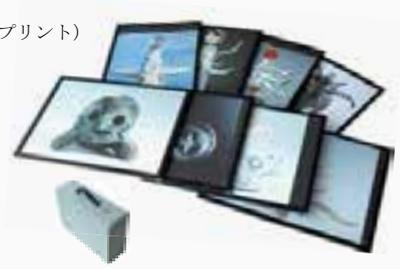
36 作品入り



### 代表作品 (フレーム入りプリント)

サイズ：42.5cm×30.5cm

20 作品入り



<内容>

絵画作品：《傷ましき腕》、《夜》、《森の掟》、《重工業》、《空間》他 全14 作品

立体作品：《誇り》、《若い時計台》、《坐ることを拒否する椅子》、《午後の日》、《太陽の塔》他 全19 作品

レリーフ：《天に舞う》 全1 作品

写 真：《縄文土器》他 全2 作品

※個々の作品についての解説書付

### 遊ぶ字 (パウチ加工プリント)

「字は絵だろ」と言った太郎さんがかいた  
40文字の漢字がカードになっています

サイズ：42.5cm×30.4cm

40 作品入り

<内容>

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全40 作品



## 3.作品カード (アートカード)

このアートカードは太郎さんの作品の代表的な作品が  
A5の24枚のカードになっています。

サイズ：12cm×18cm

1セット24枚入り

<内容>

油 彩：《空間》、《傷ましき腕》、《夜》、《重工業》、《森の掟》他 全7 作品

彫 刻：《午後の日》、《若い時計台》、《樹人》、《太陽の塔》他 全10 作品

版 画：《眼》、《夢》 全2 作品

レリーフ：《マスク》 全2 作品

インダストリアル：《顔のグラス》、《坐ることを拒否する椅子》他 全3 作品

※アートカードを使ったゲーム・遊び方例付



# 川崎市岡本太郎美術館 貸出教材を使って

## ★代表作品プリント（A3パウチ加工）

太郎さんの代表的な作品がA3の大きさに36枚のカードになっています。

- ・クラス全体にみせることが出来ます。
- ・学年や学校、図工室や美術館の掲示板に展示し「岡本太郎ミニ美術館」をつくり自由に鑑賞できます。
- ・アートカードに入っていない作品もあるので、アートカードで活動した後、クラス全体で1作品を鑑賞したり「自分だったらこんな題名」などという活動を行ったりできます。

## ★遊ぶ字（A3パウチ加工）

「字は絵だろ」と言った太郎さんがかいた40文字の漢字がカードになっています

- ・鑑賞するだけで自分もかいてみたいという意欲が高まってきます。
- ・字であるが絵でもあり絵であるが字でもあるという作品づくりに挑戦するきっかけとなります。
- ・小学校4学年の1/2成人式、小学校6学年、中学3年生が卒業を前に、「今いちばん大切にしていること、自分を表すとしたら、これからに向けて等を漢字一文字に表す」活動はいかがでしょうか。

## ★アートカードを使った授業

このアートカードは太郎さんの作品の代表的な作品がA5の24枚のカードになっています。

- ・少人数(3~5人)のグループでカード1セットを使うと一人一人じっとみたり手に取ったりできます。子どもたちは、みせるだけでとびつきます。自分たちで「これなに？」などと口々に話し、仲間分けのようなことを始めたりします。
- ・子どもたちはこのカードで「鑑賞」という枠にとらわれずに遊んでいる気持ちになります。しかし遊びで終わらず、鑑賞のねらいを持ってこのアートカードを使うことが大切です。

《アートカードを使った活動の前に》

- 1、アートカードの作品は太郎さんの作品であることを紹介。
- 2、カードの扱い方の説明（ケース内側の遊び方例の下に記載してあります）。
- 3、自分の感じたことを表してみる、友だちの感じたことをヒントに感じ方を深めること、友だちと同じ感じ方ではないことを誇りに思うこと、鑑賞に答え、正解はないということなどを子どもたちに話してあげてください。
- 4、表にして並べる時のわくわくドキドキ感、太郎さんの作品との初めての出会いを大切にしてください。
- 5、「気になる作品」はあるかな？と問いかけてみてください。
- 6、アートカードを使った活動をアレンジしたり自由に考えたりするなど先生ならではの出来ることがあります。
- 7、子どもたちがアートカードを使った遊びを自由に考えやってみる活動を試みてください。